

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	051	社会教育事業						
中	事業	01	社会教育事務事業						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	生涯学習事業として小規模な事業や、生涯学習全体を補助的に支援する事業です。
実施手段等	新しい知識と教養を身につける機会を広く市民に提供し生活の中により高い文化を創造することを目的として生涯学習講演会、成人大学講座、大学開放講座を開講します。 今後の生涯学習・スポーツ事業を展開する上での資料とするため、坂井市の生涯学習・スポーツの冊子を作成します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,599	1,615	1,111
	人件費	2,672	3,810	5,537
	総事業費	4,271	5,425	6,648
人員	正職員	0.15 人	0.40 人	0.68 人
	臨時職員	0.65 人	0.50 人	0.98 人
	人員計	0.80 人	0.90 人	1.66 人
財源内訳	国県支出金	216	216	
	その他特定財源			
	一般財源	4,055	5,209	6,648

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	生涯学習・スポーツ報告書作成	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
成果	指標の説明 報告書作成回数						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標に基づく評価	一年間の事業の総まとめとして報告書を作成し、行ってきた事業を検証することにより次年度事業のより良い取り組みにつなげています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	生涯学習事業では参加者も増加傾向にあります。講演会では講師選定でニーズの高い講師を選び参加者の増につながっています。
これまでの見直しや改善等の実績	生涯学習講演会について市民ニーズにあった講師を依頼し聴講者が増加しています。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	社会教育事務全体を見直し、さらに効率の良い事業の推進に努めます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	051	社会教育事業							
中事業	06	社会教育団体補助事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、生涯学習課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	社会教育団体の活動、運営を支援するとともに、組織の育成を行い、社会教育の推進を図ります。
実施手段等	社会教育団体に対し補助金を交付し、活動の支援・指導・育成を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>PTA連合会事業補助金</li> <li>ガールスカウト・ボーイスカウト育成団体運営補助金</li> <li>女性の会運営補助金</li> <li>かるた協会事業補助金</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,810	1,910	2,010
	人件費	671	1,066	1,335
	総事業費	2,481	2,976	3,345
人員	正職員	0.10 人	0.15 人	0.19 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.15 人	0.19 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,481	2,976	3,345

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	%	目標	33.3	33.3	33.3	33.3
			実績	25.7	24.6	27.0	24.3
			達成率(%)	77.18	73.87	81.08	72.97
成果	指標の説明 団体事業費に対する補助金の割合						
指標	1人当たり自己負担金	円	目標	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	11,873	14,883	10,660	14,176
			達成率(%)	118.73	148.83	106.60	141.76
活動	指標の説明 自己負担金を会員数で割った金額						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標に基づく評価	どちらの指標も6団体の平均値として目標に達していますが、各々としてはかなりの差異があります。個々の団体としても目標値に近づけるように取り組んでいきます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題 団体の活動内容等にもよりますが、補助率だけでなく上限を決めているため、事業費・会員数が多い団体は、補助率が著しく低くなります。公平性からの点でも改善が必要だと思われます。
これまでの見直しや改善等の実績	団体運営・団体事業補助金に関して、毎年見直しを行っています。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	活動内容や会員数に合った適正な補助金を交付出来るようにします。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	151	市民運動推進事業							
中事業	01	市民運動推進事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図ります。
実施手法等	市民運動の優良実践者を表彰するとともに、子どもから大人まで気軽に取り組める花壇づくりを推進し、花壇コンクールを行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	399	399	363
	人件費	2,001	2,558	1,601
	総事業費	2,400	2,957	1,964
人員	正職員	0.05 人	0.10 人	0.12 人
	臨時職員	0.65 人	0.90 人	0.00 人
	人員計	0.70 人	1.00 人	0.12 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,400	2,957	1,964

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標	300	300	300	300
			実績	398	398	90	185
			達成率(%)	132.67	132.67	30.00	61.67
成果	指標の説明						
	参加人数						
指標	市民運動被表彰者数	人	目標	15	15	15	15
			実績	17	7	11	11
			達成率(%)	113.33	46.67	73.33	73.33
活動	指標の説明						
	表彰者の個人・団体数（団体は1人と算出する）						
指標	花壇コンクール参加団体数	団体	目標	65	65	65	65
			実績	67	47	54	48
			達成率(%)	103.08	72.31	83.08	73.85
活動	指標の説明						
	コンクール申込団体数						
指標	花の種配布地区団体数	団体	目標	170	170	170	180
			実績	104	120	127	102
			達成率(%)	61.18	70.59	74.71	56.67
活動	指標の説明						
	花の種を配布した団体数						
指標に基づく評価	大会参加者や、花壇コンクール参加団体が増えています。事業の内容の検討や周知の徹底などが増加へとつながったと考えます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	今後も市民運動などについて、さらに周知するなど事業推進に努めます。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成30年の国体の花いっぱい運動にあわせ、生育期間を調整するため花壇コンクールの審査を8月から9月へ1か月遅らせています。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	各事業において、参加者の増加となるよう事業内容の見直し等を行います。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費
大事業	001	公民館管理運営事業							
中事業	01	公民館管理運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	有	坂井市コミュニティセンター条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換できる生涯学習の場を作り、地域の活性化を図ります。
実方手法等段	コミュニティセンターに関わる生涯学習支援を行います。 県公民館連合会が主催する各種セミナーにセンター職員を派遣し、生涯学習支援の知識や技能を学びます。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,009	1,415	144,244
	人件費	1,135	2,133	7,871
	総事業費	8,144	3,548	152,115
人員	正職員	0.15 人	0.30 人	1.12 人
	臨時職員	0.05 人	0.15 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.45 人	1.12 人
財源内訳	国県支出金			216
	その他特定財源	18	18	11,382
	一般財源	8,126	3,530	140,517

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	県公民館セミナー受講者数	人	目標	24	24		
			実績	26	21		
			達成率(%)	108.33	87.50	0.00	0.00
指標の説明							
活動	県公民館大会参加者数	人	目標	24	24		
			実績	65	23		
			達成率(%)	270.83	95.83	0.00	0.00
指標の説明							
活動	東海北陸公民館大会参加者数	人	目標	2	2		
			実績	0	2		
			達成率(%)	0.00	100.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		各講習会への積極的な参加により、各コミュニティセンターの向上につながっていると思います。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	コミュニティセンターに移行後も、生涯学習の拠点として職員研修に取り組んでおります。	
これまでの見直しや改善等の実績	コミュニティセンター移行後も、まちづくり推進課や各コミュニティセンターと連携を取り事業を進めております。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		完了	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明	まちづくり推進課へ事務事業の移行により生涯学習スポーツ課での公民館管理運営事業は完了となりますが、以後もコミュニティセンターで生涯学習事業を実施していくために、まちづくり推進課、各コミュニティセンターと連携を取り、事業の推進に努めます。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業							
中事業	06	国際交流派遣事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	8-2	国際交流・地域交流の推進		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	国際理解教育の一環として、市内中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイや授業参加を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる人材を育成します。
実施手段等	①ホームステイを通して、外国の生活を体験し、国際交流理解を促進します。 ②英国の学校の授業に参加することにより、文化理解を図ります。 ③カーティフ市内の生徒と坂井市の中学生との友好親善を図ります。 ④坂井市の自然・文化を紹介するための若き民間外交を展開します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	8,215	9,758	9,022
	人件費	4,498	6,043	4,428
	総事業費	12,713	15,801	13,450
人員	正職員	0.67 人	0.85 人	0.63 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.67 人	0.85 人	0.63 人
財源内訳	国県支出金	1,516		
	その他特定財源	5,000	5,000	5,000
	一般財源	6,197	10,801	8,450

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	参加者の成長度	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	参加者の満足度	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	95.0	100.0	100.0	100.0
			達成率(%)	95.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	参加者数	人	目標	25	25	25	25
			実績	25	25	25	25
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	事前研修の回数	回	目標	14	14	14	14
			実績	14	14	14	14
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	指標に基づく評価	ホームステイを通し英国での生活を体験する際、言葉の壁やカルチャーショックなどでうまくコミュニケーションを図れない団員がいました。引率では振り返りシート・会話を通して困ったことがないか確認していたが、その場では言わず後日アンケートで伝える団員が居たことから、現地での連携を更に深めていくべきと考えます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	市職員のみが主体となって行う研修というイメージが強く、国際交流担当教諭との連携が図れていない部分があります。生徒指導面等の役割分担等、取り組み方に工夫が必要だと考えます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	より多くの市内生徒が国際交流に関わるように、本事業に対し理解を示す関係団体の協力を得ながら、参加者数の増に努めていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業							
中事業	11	国際交流招聘事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	国際社会を生きる児童・生徒の資質向上を目指し、英国の交流先であるカーディフ市の生徒を招へいし、ホームステイや日本の学校生活の体験を通して、相互の生徒の国際的な視野を広めます。
実施手法等	英国の交流先であるカーディフ市の生徒を招へいし、ホームステイや日本の学校生活の体験を通して、相互の生徒・家庭・市民の国際的な視野を広めます。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,464	1,523	1,479
	人件費	3,894	3,910	3,795
	総事業費	5,358	5,433	5,274
人員	正職員	0.58 人	0.55 人	0.54 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.58 人	0.55 人	0.54 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	5,358	5,433	5,274

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	受入れ家庭の満足度	家庭	目標	24	25	19	
			実績	24	25	19	
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	0.00
指標の説明							
指標	受入れ校における派遣応募者増加率	%	目標	5.0	5.0	5.0	
			実績	4.0	7.0	3.0	
			達成率(%)	80.00	140.00	60.00	0.00
指標の説明							
活動	受入れ家庭への説明回数	回	目標	2	2	2	
			実績	2	2	2	
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		より多くの市内生徒達に国際交流の機会を提供することで、国際理解教育を一層進めることができた。今回は丸岡中・丸岡南中での交流で、学校側もより多くの英国生徒を様々な授業に参加させてくれました。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	毎年順調におもてなしをしているが、2度目の訪問となる生徒・引率もいることから毎回同じ内容でなく、新たな見学場所や体験など、検討していく必要があると考えます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	英国招へいの成果をより多くの生徒たちに実感してもらえるように、今後も学校と連携し事業を進ていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業							
中事業	01	子ども会育成事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		生涯学習課所管補助金等交付要綱、坂井市子ども会育成会連絡協議会会則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を図ることを目的としています。
実施手段等	「坂井市子ども会育成連絡協議会」を事業主体として、「坂井地区子ども会育成連絡協議会」や「各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブ」と連携・協力し、子ども会活動の支援や組織の育成を図ります。 【坂井市子ども会育成連絡協議会の主な事業】 壁新聞コンクール・ディスクドッチ大会・かるた大会・チャレラン大会・育成者研修会他

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,138	2,138	2,138
	人件費	3,533	1,627	4,469
	総事業費	5,671	3,765	6,607
人員	正職員	0.45 人	0.20 人	0.60 人
	臨時職員	0.20 人	0.10 人	0.10 人
	人員計	0.65 人	0.30 人	0.70 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	5,671	3,765	6,607

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	子ども会安全会加入率	%	目標	62.0	62.0	62.0	62.0
			実績	52.0	52.3	51.7	55.0
			達成率(%)	83.87	84.35	83.39	88.71
指標の説明							
活動	育成者研修会参加者数	人	目標	280	280	280	280
			実績	203	230	251	213
			達成率(%)	72.50	82.14	89.64	76.07
指標の説明							
活動	壁新聞コンクール出品数	点	目標	160	160	160	160
			実績	86	87	128	136
			達成率(%)	53.75	54.38	80.00	85.00
指標の説明							
活動	専門部会の開催回数	回	目標	4	4	4	4
			実績	5	2	2	2
			達成率(%)	125.00	50.00	50.00	50.00
指標の説明							
指標に基づく評価		安全会加入率や壁新聞コンクール出品数は前年度とほぼ同数となっており、前年度と同規模の活動を行っていることがうかがえます。その一方で、新規に組織運営部会を立ち上げたことにより専門部会の開催回数は倍以上となった。今後も、組織運営部会を中心に会のあり方や事業の在り方について議論を煮詰めていきたいと考えます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	子ども会の役員が主体となって事業運営を行うことが理想的だが、役員は1年任期であり、市が主体とならざるを得ない状況です。	
これまでの見直しや改善等の実績	行政の立場から子ども会の補助をすることで、青少年健全育成に大きく関わっていることは妥当と思われます。また、子どもを対象としたイベントを行う他団体と連携を取りながら活動することで、イベントの内容や日程が重ならず、子どもたちが今まで以上に楽しめていると考えます。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	子ども会の指導者となるジュニアリーダーの育成に努め、まちづくり団体や社会教育団体等からの活動依頼にも応える中でジュニアリーダーや子ども会との連携を図り、ますますの子ども会活動の発展に努めます。また、より安全で安心な子ども会活動を目指して、平成27年度よりディスクドッチ大会からディスクドッチ大会に変更しました。今後も、子どもたちが取り組みやすい内容を中心に子ども会活動の活性化に努めていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業							
中事業	06	成人式事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	新成人の門出を祝福するとともに、参加した新成人一人ひとりが成人したことを自覚し、これからの社会の中で自主的・協力的に行動するように促します。
実施手法等	広報紙・ホームページ等を通じて実行委員を募集し、新成人自らが実行委員となり式典やアトラクション、記念品などの企画・運営を行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,323	1,297	1,259
	人件費	3,485	5,779	5,693
	総事業費	4,808	7,076	6,952
人員	正職員	0.50 人	0.81 人	0.81 人
	臨時職員	0.05 人	0.01 人	0.01 人
	人員計	0.55 人	0.82 人	0.82 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	4,808	7,076	6,952

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	式典参加率	%	目標	85.0	85.0	85.0	85.0
			実績	80.9	81.6	80.1	80.9
			達成率(%)	95.18	96.00	94.24	95.18
指標の説明							
指標	実行委員数	人	目標	16	16	16	16
			実績	13	16	13	16
			達成率(%)	81.25	100.00	81.25	100.00
指標の説明							
指標	ホームページ・広報掲載回数	回	目標	6	6	6	6
			実績	6	6	6	6
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	ボランティア参加者数	人	目標	12	12	12	12
			実績	8	9	9	9
			達成率(%)	66.67	75.00	75.00	75.00
指標の説明							
指標に基づく評価	本年も実行委員会方式で行い、委員会では委員たちが自由に意見を出し合って準備を進めることができた。メディアの取材も多く受け、本年独自の成人式を造ることができました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	新成人で構成する実行委員会方式も、途中、集まりが悪く準備が捗らなかったため、委員会の開催を、後半週2回に増した経緯がありました。今後も、全員に実行委員としての自覚を強く持ってもらうことで、積極性・自主性を養うて場を造っていきます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	現状の実行委員会方式が妥当だと考えます。成人となる自覚を持ち、積極性・自主性を高める式典として継続していきます。				



平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業							
中事業	11	わんぱく少年団事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市青少年自然体験活動事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市および県内の自然の中で様々な体験を行うことにより、自立の精神を育み、その上で仲間とコミュニケーションをとりながら協力を大切さを学びます。また、坂井市の豊かな自然に触れ合うことによって、ふるさとを大切にする健やかな心身を育成します。
実施方法等	坂井市内の小学校5、6年生30人を対象に募集し、夏及び冬キャンプ、カヌー体験、トレッキング、ウォークラリー、ディスクゴルフ等、自然を通じた活動を年間12回実施しました。（雨天により1回中止）

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	317	322	327
	人件費	4,363	0	4,920
	総事業費	4,680	322	5,247
人員	正職員	0.65 人	0.00 人	0.70 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.65 人	0.00 人	0.70 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源		81	135
	一般財源	4,680	241	5,112

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	参加者の満足度	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	95.7	100.0	100.0	100.0
			達成率(%)	95.65	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	募集定員（30人）に対する申込者数の割合	人	目標	30	30	30	30
			実績	23	27	29	29
			達成率(%)	76.67	90.00	96.67	96.67
指標の説明							
指標	1回あたりの参加団員数の割合	%	目標	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績	81.4	88.5	89.3	88.5
			達成率(%)	90.47	98.33	99.22	98.33
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	申込者数が年々減少しており、出席率も徐々に微減しています。これは、活動の魅力が失われているという可能性も否定できないものの、子どもの多忙化が最大の要因と考えられます。参加者の満足度が初めて減したのもその影響があり、平成28年度は習い事と活動が重なってほとんど参加できない団員もいました。今後は、土日以外の実施も検討していく必要があると考えます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	団員は年度当初に市内の小学5・6年生を対象に募集し、30名程度の団員で1年間の活動をしています。そのため、特定の個人に受益が偏ることが考えられます。	
これまでの見直しや改善等の実績	活動内容や規模を鑑みると小学4年生以下を対象にすることは難しく、また、活動毎に団員を募集するのでは継続性、発展性を図ることが難しいので、特定の個人に受益が偏るものある程度は仕方がない事と思われれます。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	自然の中での活動を通じて自ら考えて発信するちからや仲間と積極的に協力するちから等の醸成に努めました。また、市の新たな魅力発見や郷土愛も育むことができたと考えます。子どもの多忙化により、原則土日開催の本活動に参加できない児童が増えており、運営体制も慢性的な人員不足で、年間十数回の活動を職員だけで継続していくのは困難な現状です。今後は活動日や内容の見直し、外部講師の活用等も含めて検討していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業							
中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、時代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年坂井市民会議を支援します。
実施方法等	青少年育成坂井市民会議に補助金を交付し、健全な青少年を育成するための事業を実施します。同市民会議はコミュニティセンター単位の23支部で構成し、総会・理事会において活動方針を決定します。また、「心の教育講演会」や「青少年健全育成推進大会」等を中心とした事業を展開し、市全体の健全育成を推進します。各支部においては、地域の実情に応じた活動を行い地域の青少年の健全育成を推進します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,126	2,126	2,126
	人件費	3,789	0	2,839
	総事業費	6,915	2,126	4,965
人員	正職員	0.45 人	0.00 人	0.35 人
	臨時職員	0.30 人	0.00 人	0.15 人
	人員計	0.75 人	0.00 人	0.50 人
財源内訳	国県支出金	1,000		
	その他特定財源			
	一般財源	5,915	2,126	4,965

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	賛助会員数	人	目標	150	276	276	276
			実績	89	131	147	252
			達成率(%)	59.33	47.46	53.26	91.30
指標の説明		賛助会員（個人・団体）数					
活動	支部事業数	件	目標	120	115	115	115
			実績	139	141		
			達成率(%)	115.83	122.61	0.00	0.00
指標の説明		23支部の年間事業数					
活動	青少年健全育成推進大会来場者数	人	目標	150	200	200	200
			実績	81	71	107	113
			達成率(%)	54.00	35.50	53.50	56.50
指標の説明		青少年健全育成推進大会の来場者数					
活動	心の教育講演会来場者数	人	目標	700	200	200	200
			実績	800	126	83	79
			達成率(%)	114.29	63.00	41.50	39.50
指標の説明		心の教育講演会の来場者数					
指標に基づく評価		各支部の事業数は一定数を維持していますが、賛助会員数およびそれに伴う賛助金収入の減少は著しいのが現状です。青少年育成坂井市民会議主催の2事業に関しては、来場者数の増加がみられますが、継続して来場者を動員できる内容の充実が必要であると考えます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	市が事務局を担っており、組織体系が形骸化していた。平成28年度より、会員の事業への参画の動きが見え始めたが、会員が高齢化しており、事務局の独立等は困難である。また、保護者世代からの認知度が低く、団体の不透明性を改善する必要がある。		
これまでの見直しや改善等の実績	青少年の保護者世代からの団体認知度を高め、青少年育成への関心を集めるため、従前の見守り活動以外の事業として、「心の教育」「命の教育」に力を注ぎ、「青少年の育成」への関心が低い層への協力を目標としています。「心の教育講演会」は市制10周年記念事業として開催し、著名な講師をお招きすることで、普段青少年育成活動に対して消極的な層の動員に成功しました。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	各支部との連携を強化するとともに、類似団体との住み分けを明確にし、支部活動の透明化を図ることで、団体の認知度を上昇させよう努めます。また、青少年の健全育成の機運を高めるため、坂井市教育振興基本計画に基づき、主催事業の内容を精査・実施することで、青少年育成事業に対する市民意識の高揚を図っていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業							
中事業	21	放課後子ども教室推進事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱 他		
関連計画・マニュアル	無		坂井市子ども・子育て支援事業計画・放課後子ども総合プラン		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	放課後や週末等に安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方がの参画を得て、子どもたちの勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域の交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。
実施手段等	坂井市放課後子ども教室実行委員会に業務を委託し、主にコミュニティセンターを活動場所として学習補助、文化芸術体験、世代間交流などを地域ボランティアの協力を得ながら、地域ニーズに応じた教室を実施しています。 (補助率) 国 1/3 県 1/3 ※補助限度額あり

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,976	3,937	3,915
	人件費	2,350	2,338	2,411
	総事業費	6,326	6,275	6,326
人員	正職員	0.35 人	0.30 人	0.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.10 人	0.12 人
	人員計	0.35 人	0.40 人	0.42 人
財源内訳	国県支出金	2,484	2,415	2,610
	その他特定財源			
	一般財源	3,842	3,860	3,716

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	事業実施教室	教室	目標	25	25	25	25
			実績	24	25	25	25
			達成率(%)	96.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	子どもの参加者数	人	目標	17,500	17,500	17,500	17,500
			実績	16,345	14,180	13,751	14,180
			達成率(%)	93.40	81.03	78.58	81.03
指標の説明							
指標	実施回数	回	目標	1,250	1,250	1,250	1,250
			実績	1,165	970	1,071	1,233
			達成率(%)	93.20	77.60	85.68	98.64
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		実施教室数は、前年度より1教室減少したが、子どもの参加者数、実施回数とともに上回っています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	児童クラブとの連携をコスト、効率の面から進めていく必要がありますが、担当課が違うため、連携していくことが課題です。	
これまでの見直しや改善等の実績	いままでは同じ小学校の区域で、近い半径に教室が複数あり、1教室の参加者数が少ない状況でした。H28年度は、参加者数の少ない教室を休止し、1教室の参加者数を増やすということで効率化を図りました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	既に児童クラブと連携している教室を参考に、少しでもそういった教室を増やしていくように努めていきたいと考えています。また、家庭教育支援員にも親子参加型の教室を利用して周知・手伝いを図っていく方向です。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業							
中事業	26	合宿通学事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市合宿通学事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	家庭を離れ、コミュニティセンター等の公共施設で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分でいながら学校に通学することにより、日常生活における家族への感謝の気持ちや自主性を、協調性を育てます。また、地域の方々の協力を得て行うことにより、地域で子どもを育てるという気運を高め、子どもたちと地域の結びつきを深めることが期待できます。
実施方法等	社会教育委員からなる坂井市合宿通学実行委員会に事業を委託しています。 【実施校・学年】三国西小6年、長畝小4年、春江西小5年、大関小4年 【実施場所】三国コミュニティセンター、のうねの郷コミュニティセンター、春江西コミュニティセンター、大関コミュニティセンター 【実施期間】三国西小…3泊4日、他3校…2泊3日

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	986	1,312	1,342
	人件費	3,820	4,826	5,954
	総事業費	4,806	6,138	7,296
人員	正職員	0.55 人	0.65 人	0.84 人
	臨時職員	0.05 人	0.10 人	0.02 人
	人員計	0.60 人	0.75 人	0.86 人
財源内訳	国県支出金	242		
	その他特定財源			
	一般財源	4,564	6,138	7,296

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	参加者の満足度	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	95.1	95.6	94.3	995.4
			達成率(%)	95.10	95.60	94.30	995.40
指標の説明							
活動	参加者の数 (目標値は参加校の対象児童数合計)	人	目標	152	133	150	250
			実績	127	110	146	160
			達成率(%)	83.55	82.71	97.33	64.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	最終日の修了式には、参加した児童のほぼ全員が一様に笑顔で満足げな様子です。後日実施するアンケートでは、児童の保護者や学校関係者からも、大変好評価をいただいています。参加者の数は、施設の規模等を総合的に判断し、定員を40名程度としています。参加率は、実施校の児童数にもよるが、ここ数年8割を超えています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	現在、旧町単位で1校ずつ実施しており、各校毎においては4～7年に一度になってます。保護者からは毎年実施を望むもあるが、当課の人員からは、4校実施で精一杯である為、受益の公平性という観点からも要望に応えられていないのが現状です。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成29年度は、平成28年7月にオープンした「竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん」で実施を予定しています。従来のコミュニティセンターでは出来ない”竹田”という地域を生かした合宿通学事業が実施できればと考えています。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	平成29年度に実施する「竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん」での合宿通学事業を踏まえ、今後の合宿通学事業の在り方、方向性などについて検討していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業							
中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学5・6年生児童を対象に両市の名勝旧跡の見学や体験学習を通して人的交流を図ります。
実施方法手段等	延岡市の小学生を坂井市に招へいし、両市の小学生と一緒に坂井市を体験します。（一年おきにお互いを訪問。） 参加者 坂井市内の児童（5・6年生） 28人 坂井市PTA連合会 4人 事務局 3人

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	461	1,208	700
	人件費	2,014	4,692	4,638
	総事業費	2,475	5,900	5,338
人員	正職員	0.30 人	0.66 人	0.66 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.66 人	0.66 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源		500	
	一般財源	2,475	5,400	5,338

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	参加者満足度	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		交流後アンケートの参加者満足度					
活動	参加者の事前研修の回数	回	目標	2	2	2	2
			実績	2	2	1	2
			達成率(%)	100.00	100.00	50.00	100.00
指標の説明		交流に向けての事前研修の実施回数					
成果	交流隊申込者数	人	目標	20	20	20	20
			実績	28	42	35	43
			達成率(%)	140.00	210.00	175.00	215.00
指標の説明		坂井・延岡ジュニア交流隊応募者数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標に基づく評価		宮崎県延岡市の児童と交流を通し、姉妹都市である延岡市の歴史文化自然に触れることで、坂井市の歴史文化自然を理解する機会となりました。また、児童の自立心や積極性を育み、交流後も文通を行う、保護者に延岡市訪問を希望するなど、姉妹都市間の人的交流に貢献している事業です。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	続けて参加し、延岡市児童との交流を深める児童も多くおり、本事業後も交流を続けているようです。ちくちくぼんぼん等により、今まで以上に坂井市独自の文化・自然を体験できるようになったので、今後も有意義な交流事業として継続していきます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	坂井市PTA連合会との連携を深め、坂井市教育振興基本計画に基づき事業を継続していきます。平成31年度には交流10年目を迎えるため、宮崎県延岡市と今後の交流の方向性について協議を行いたいと考えています。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	051	心の家庭教育支援事業							
中事業	01	心の家庭教育支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	地域や学校との連携を強化し、子育て中の保護者と子どもたちへのより良い支援体制をつくり、市全体への家庭教育支援の拡充を図ります。
実施手段等	元教員、元保育士、子育て経験者である家庭教育支援員がチーム体制で市内の小学校へ訪問の相談会、広報誌の発行、子育て講座・懇談会を開催する。【平成28年度訪問校】（前年度の対象校など継続を希望する学校も訪問）【三国地区】：三国南、三国北、加戸、三国西、【丸岡地区】：高椋、平草、明草、【春江地区】：春江、春江東、春江西、大石、【坂井地区】：東十郷、兵庫、大関、木部

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,076	1,108	1,080
	人件費	1,806	2,133	1,898
	総事業費	2,882	3,241	2,978
人員	正職員	0.25 人	0.30 人	0.27 人
	臨時職員	0.05 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.30 人	0.27 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,882	3,241	2,978

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	広報誌の発行回数	回	目標	4	4	4	4
			実績	5	5	4	4
			達成率(%)	125.00	125.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	家庭学習に関する学習・情報交換の機会を提供（子育て講演会・懇談会）	回	目標	19	19	19	19
			実績	18	12	11	6
			達成率(%)	94.74	63.16	57.89	31.58
指標の説明							
活動	年間の子ども相談室の開催数（一地区あたり平均値）	回	目標	48	48	48	48
			実績	61	50	50	59
			達成率(%)	127.08	104.17	104.17	122.92
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		子ども相談会の回数、保護者対象の相談会の回数ともに前年度より上回っています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	保護者相談会の参加者が少ないのが現状です。家庭教育支援という活動を保護者へPRすることが課題だと考えます。	
これまでの見直しや改善等の実績	就学児健康診断時の保護者相談会を通常子ども相談で訪問している学校だけでなく、全校で実施しました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	保護者が参加する学校行事を利用して、PRや相談会を行うようにしていきます。また、学校だけではなく、親子参加型のコミセン講座で相談会を開催するなど、新たな場所での相談会開催を検討していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大事業	001	愛護センター事業							
中事業	01	愛護センター事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市青少年愛護センター条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	青少年の実体を把握し、健全な育成を促進するため愛護センターを設置し、青少年の福祉の向上を図ります。
実施手段等	【非行防止】 補導員による巡回・声かけによる早期発見 【浄化活動】 有害図書に関する調査・指導、白いポストの回収廃棄 【相談業務】 児童、生徒や保護者および教師の相談業務 【健全育成】 懇談会、研修会の開催や地域との合同パトロール、啓発活動の実施 【安全対策】 青色回転灯装着車による巡回による見守り活動

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,336	2,482	2,295
	人件費	17,968	711	1,406
	総事業費	21,304	3,193	3,701
人員	正職員	1.15 人	0.10 人	0.20 人
	臨時職員	4.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	5.15 人	0.10 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	384	389	391
	その他特定財源	1,090		
	一般財源	19,830	2,804	3,310

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	少年等相談件数	件	目標	150.0	150.0	200.0	200.0
			実績	119.0	81.0	84.0	268.0
			達成率(%)	79.33	54.00	42.00	134.00
指標の説明							
指標	白いポスト回収点数	点	目標	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0
			実績	472.0	1,631.0	799.0	992.0
			達成率(%)	47.20	163.10	79.90	99.20
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	相談業務に関しては、電話・来訪それぞれあり、中には同じ内容の相談案件を複数回かけて解決の糸口へ導く場合もあります。相談には様々なケースがあるので、相談窓口の存在そのものを今後も広く周知していきます。白いポストが、有害図書の回収に一定の効果をもたらしていることは、路上に散乱する状況が以前に比べ減ったことでも明らかです。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	青少年の健全な育成のための活動内容には、地道なものがあり、すぐさま結果にあらわ得るものではない難しさがあるが、継続していく必要のある事業だと考えます。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	青少年を取り巻く環境に考慮し、事業を継続していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業							
中事業	01	スポーツ推進委員運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	スポーツ振興法			
根拠例規	有	坂井市スポーツ推進委員に関する規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力などを行い、市のスポーツ振興を図ります。
実施手段等	【部会内容】スポーツ推進委員44名 総務部会：委員の広報活動、総合型地域スポーツクラブの育成および推進 事業部会：各種スポーツ行事、大会企画、運営および指導 研修部会：市民、体育指導委員の資質向上に寄与する研修・講習会の企画 その他、団体や地域からの依頼によりニュースポーツなどの派遣指導を行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,689	2,378	2,539
	人件費	3,021	2,915	2,881
	総事業費	5,710	5,293	5,420
人員	正職員	0.45 人	0.41 人	0.41 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.41 人	0.41 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	57		
	一般財源	5,653	5,293	5,420

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	スポーツ推進委員派遣指導依頼回数	回	目標	25	25	25	25
			実績	29	31	32	23
			達成率(%)	116.00	124.00	128.00	92.00
指標の説明							
活動	研修回数	回	目標	6	6	6	6
			実績	9	10	9	8
			達成率(%)	150.00	166.67	150.00	133.33
指標の説明							
活動	会議回数	回	目標	25	25	25	25
			実績	25	25	26	26
			達成率(%)	100.00	100.00	104.00	104.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		派遣指導依頼・研修回数については、目標値を上回る依頼・研修がある。会議に関しては、例年程度の会議を行い、今後の方針等を決めていく必要があると考えます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない
	スポレッシュ教室（ニュースポーツ教室）やウォークラリー大会などを開催しています。また、スポーツイベントへの協力を行っています。スポーツ活動の推進のため継続していく必要のある事業と考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度		目標年度	
方向性の説明	市民を対象に、運動習慣づくりのための「スポレッシュ教室（ニュースポーツ教室）」を定期的に開催するほか、健康増進のためのウォークラリー大会などを開催していきます。市民のニーズを踏まえ参加しやすいスポーツを推進していく。坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、活動を取り組んでいきます。			



平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費
大事業	101	保健体育事業				
中事業	01	保健体育事務事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	スポーツ振興の充実を図るための事業です。
実施手段等	スポーツ振興審議会事業： スポーツ推進に関する重要事項について調査審議し、市教育委員会に建議する目的により設置されます。 各種協議会等に対し、負担金助成を行っています。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,385	97	8
	人件費	3,021	711	703
	総事業費	5,406	808	711
人員	正職員	0.45 人	0.10 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.10 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	5,406	808	711

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	陸上競技場2種継続検定の可否	施設	目標	1			
			実績	1			
成果			達成率(%)	100.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明		本年度に改修を行った施設				
活動	各種協議会負担金助成額	円	目標	8,000	8,000	9,000	9,000
			実績	8,000	8,000	8,000	9,000
			達成率(%)	100.00	100.00	88.89	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	三国運動公園内にある陸上競技場の改修を行い2種公認となりました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題		
	スポーツ振興計画の見直しを行う予定だが、教育振興基本計画が延長されたことによりスポーツ振興審議会の開催を見送っています。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ地を誘致活動を進めていく必要があると考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ地を誘致活動を進めていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	151	国体推進事業							
中事業	01	国体推進事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	スポーツ振興法、国民体育大会開催基準要項			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	平成30年に開催予定の第73回国民体育大会に向け、競技会場となる各施設を改修し、施設環境の整備を行います。
実方手法等	国民体育大会で使用する施設の改修工事を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三国体育館耐震改修工事</li> <li>・三国運動公園陸上競技場改修工事</li> <li>・三国運動公園多目的競技場改修工事</li> <li>・丸岡体育館耐震改修工事</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,392,658	261,096	86,745
	人件費	7,720	1,066	5,482
	総事業費	1,400,378	262,162	92,227
人員	正職員	1.15 人	0.15 人	0.78 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.15 人	0.15 人	0.78 人
財源内訳	国県支出金	224,178	0	37,901
	その他特定財源	945,100	0	36,000
	一般財源	231,100	262,162	18,326

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	国体競技施設の整備	施設	目標	4	2	1	2
			実績	4	2	1	2
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
成果	指標の説明 本年度に改修を行った国体開催予定施設数						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標に基づく評価	平成30年度に開催される福井しあわせ元気国体・大会に向け、競技施設となる三国運動公園陸上競技場、同多目的競技場（改修後、人工芝グラウンドに改称）、三国体育館、丸岡体育館の4施設について改修をしました。本年度に行った改修により、国体の会場となる施設はすべてが競技基準を満たすものとなりました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	大規模な改修工事は完了したものの、竣工から長期間が経過した施設が多く、競技部分以外においても老朽化等がみられる。国体開催に向け、可能な限り施設を万全の状態に近づけていく必要があると考えます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		完了
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	平成30年度の国体開催に向けて、丸岡スポーツランドサッカー場の電光得点掲示板を設置していきます。また、国体・プレ大会において必要となる備品・器具等を購入していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業							
中事業	01	スポーツ大会運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図ります。
実施手段等	市民の生涯にわたるスポーツライフの実現をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリー</li> <li>・ニュースポーツ教室</li> <li>・坂井市古城マラソン</li> <li>・坂井市民スポーツ祭</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	9,313	5,899	5,857
	人件費	2,014	2,346	2,319
	総事業費	11,327	8,245	8,176
人員	正職員	0.30 人	0.33 人	0.33 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.33 人	0.33 人
財源内訳	国県支出金	12		
	その他特定財源	2,806	2,197	37
	一般財源	8,509	6,048	8,139

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数	人	目標	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績	4,830	3,465	2,161	3,010
			達成率(%)	107.33	77.00	48.02	66.89
指標の説明							
指標	坂井市古城マラソン申込者数	人	目標	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績	4,725	3,621	3,631	3,809
			達成率(%)	118.13	90.53	90.78	95.23
指標の説明							
活動	スポーツ推進委員会主管大会参加者数	人	目標	150	150	200	200
			実績	181	152	88	67
			達成率(%)	120.67	101.33	44.00	33.50
指標の説明							
指標	坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数	種目	目標	25	25	25	25
			実績	26	21	21	25
			達成率(%)	104.00	84.00	84.00	100.00
指標の説明							
指標に基づく評価	平成28年度の市民スポーツ祭、古城マラソン申込み人数は目標値を上回りました。また、坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数に関しても平成28年度は目標値を上回る開催競技を実施しました。スポーツ推進委員会主管大会参加者に関しては、平成27年度から目標値を上回る参加者を得ています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度		目標年度	
方向性の説明	坂井市体育協会、スポーツ推進委員と連携しながら取り組んでいきます。坂井市スポーツ振興計画に基づき取り組んでいきます。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業							
中事業	06	スポーツ振興事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市全国スポーツ大会出場激励金支給要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市スポーツ振興基本計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図ります。 坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体の活動に対して補助を行います。
実方手法等	【激励事業】 予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督について、激励金を支給します。 【団体補助事業】 各団体の年間活動に対して、補助金を支給します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	36,022	38,305	35,490	
	人件費	4,028	0	0	
	総事業費	40,050	38,305	35,490	
人員	正職員	0.60 人	人	人	
	臨時職員	0.00 人	人	人	
	人員計	0.60 人	0.00 人	0.00 人	
財源内訳	国県支出金	76			
	その他特定財源	253		4	
	一般財源	39,721	38,305	35,486	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	激励金支出人数	人	目標	350	350	345	344
			実績	396	402	304	355
			達成率(%)	113.14	114.86	88.12	103.20
指標の説明							
指標	体育協会加盟団体開催事業数	事業	目標	110	110	105	105
			実績	128	122	120	116
			達成率(%)	116.36	110.91	114.29	110.48
指標の説明							
指標	国際大会出場者数	人	目標	10	10	10	10
			実績	10	24	9	6
			達成率(%)	100.00	240.00	90.00	60.00
指標の説明							
指標	国民体育大会出場数	人	目標	35	35	30	30
			実績	35	28	37	24
			達成率(%)	100.00	80.00	123.33	80.00
指標の説明							
指標に基づく評価		激励金支出人数、体育協会加盟団体開催事業数、国際大会出場者数、国民体育大会出場数ともに目標値を達成しています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	平成30年の福井国体を見据え、体育協会や各種目協会と連携・協力し、生涯スポーツの振興、さらなる競技力向上に努めていきます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度		目標年度	
方向性の説明	体育協会やスポーツ推進委員会と連携・協力し、生涯スポーツの振興に努めていきます。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業							
中事業	01	体育施設管理事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	指定管理者モニタリングマニュアル			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	スポーツ環境の整備充実を図るため、坂井市の総合計画と整合させながら、既存の体育施設が安全かつ安心して利用できるよう、施設の管理を図ります。施設の管理運営については指定管理者制度を導入し、体育施設の適切な維持管理と民間のノウハウを活かした利用促進を図ります。
実施方法等	小中学校の体育施設を学校行事に支障をきたさない範囲で開放します。利用者の利便性を考慮し、公益財団法人坂井市体育協会に事業を委託します。アクアスポーツ会社、公益財団法人坂井市体育協会を指定管理とし、施設の管理運営を行います。指定管理者に対しては、モニタリングマニュアルに基づいたモニタリング等を実施します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	677,274	79,500	81,275
	人件費	4,699	0	4,498
	総事業費	681,973	79,500	85,773
人員	正職員	0.70 人	人	0.64 人
	臨時職員	0.00 人	人	0.00 人
	人員計	0.70 人	0.00 人	0.64 人
財源内訳	国県支出金		1,519	1,217
	その他特定財源	289,520	7,226	4,942
	一般財源	392,453	70,755	79,614

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	学校体育施設利用者数	人	目標	81,000	80,000	80,000	80,000
			実績	95,723	80,264	82,550	72,899
			達成率(%)	118.18	100.33	103.19	91.12
指標の説明							
指標	坂井市体育施設利用者数	人	目標	474,000	556,620	588,150	537,250
			実績	487,224	589,674	620,082	534,780
			達成率(%)	102.79	105.94	105.43	99.54
指標の説明							
指標	坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター利用者数	人	目標	162,770	158,800	160,250	146,700
			実績	166,223	164,763	162,001	155,573
			達成率(%)	102.12	103.76	101.09	106.05
指標の説明		施設利用者数（一般利用者と会員利用者の合計）					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		平成28年度には国体に向けた大規模な施設改修があったものの、計画以上の実績を挙げることができました。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	本年度中に磯部テニス場・春江ゲートボール場の2施設を廃止した。他にも老朽化した施設は多いため、修繕だけでなく統廃合も含めた検討を重ねていく必要があると考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成30年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター、坂井市体育施設の2区分について、平成30年度末で指定管理期間が終了するため、平成30年度中に指定管理者の評価・選定を行います。また、坂井市公共施設等総合管理計画の個別策定に併せ、体育施設の統廃合についても検討を重ねていきます。				